

注意事項

1 試験問題の数は110問で、解答時間は正味2時間30分である。

2 解答方法は次のとおりである。

(1) 各問題にはaからdまで4つの選択肢がある。そのうち質問に適した選択肢を(例1)では1つ、(例2)では2つ選び答案用紙に記入すること。

(例1) [問題 111] 県庁所在地は どれか。1つ選べ。	(例2) [問題 112] 県庁所在地はどれか。 2つ選べ。
a 栃木市	a 宇都宮市
b 川崎市	b 川崎市
c 神戸市	c 神戸市
d 倉敷市	d 倉敷市

(例1)の正解は「c」であるから答案用紙の

111 a b c d のうち、 c をマークして

111 a b d とすればよい。

(例2)の正解は「a」と「c」であるから答案用紙の

112 a b c d のうち、 a と c をマークして

112 b d とすればよい。

(2) 答案の作成にはHBの鉛筆を使用し、濃くマークすること。

良い解答の例…… (濃くマークすること。)

悪い解答の例…… (解答したことにならない。)

(3) 答えを修正した場合は、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。

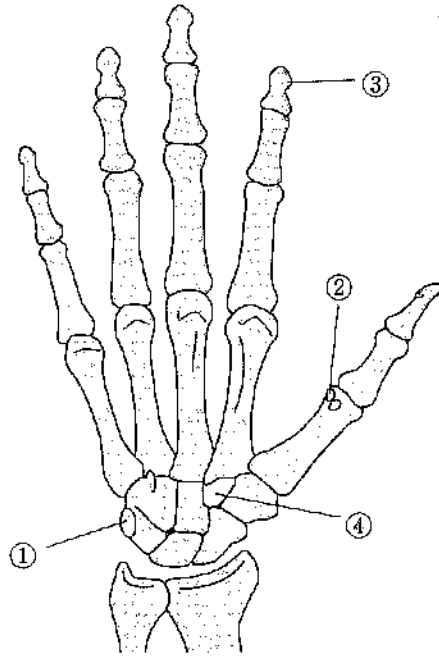
鉛筆の色が残ったり、「」のような消し方などをした場合は、修正したことにならないので注意すること。

(4) ア (例1)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。

イ (例2)の質問には1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

(5) 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

[問題 1] 手の骨の模式図を示す。



種子骨はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

[問題 2] 歯と石灰化開始時期との組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 上顎乳中切歯 ———— 胎生 8~9 週
- b 下顎第二乳臼歯 ———— 胎生 8~9 か月
- c 上顎第一大臼歯 ———— 6~7 か月
- d 下顎第二大臼歯 ———— 2 歳 6 か月~3 歳

[問題 3] 心臓の模式図(別冊午後 No. 1)を別に示す。

僧帽弁はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

別冊
午後 No.1 図

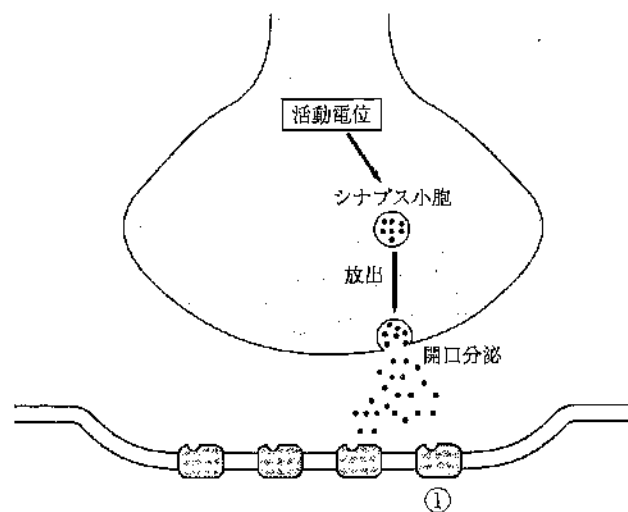
[問題 4] カルボールフクシン染色した歯の研磨標本の顕微鏡写真(別冊午後 No. 2)を別に示す。

矢印が示す構造の成因はどれか。1つ選べ。

- a Korff 線維
- b Tomes 線維
- c Tomes 突起
- d Tomes 顆粒層

別冊
午後 No.2 写真

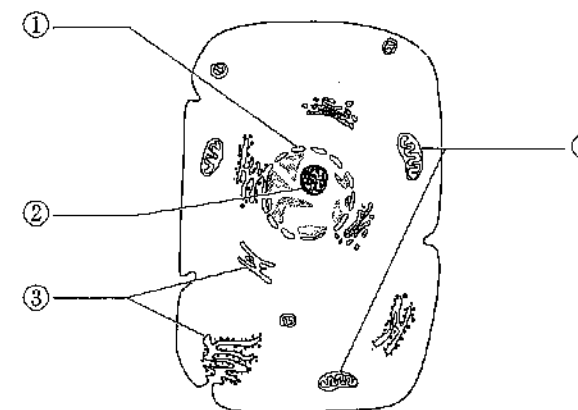
[問題 5] 運動神経終末の模式図を示す。



① が示す受容体はどれか。1つ選べ。

- a GABA_A 受容体
- b ニコチン受容体
- c ムスカリン受容体
- d アドレナリン受容体

[問題 6] 細胞の模式図を示す。



ATP 産生が行われるのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

[問題 7] 骨 Gla タンパクはどれか。1つ選べ。

- a ホスホホリン
- b アメロゲニン
- c I 型コラーゲン
- d オステオカルシン

[問題 8] 癌抑制遺伝子はどれか。1つ選べ。

- a *ras*
- b *p53*
- c *myc*
- d *erb-B*

[問題 9] 壊死性潰瘍性歯肉炎の病変部から分離された細菌のグラム染色像(別冊午後 No. 3)を別に示す。

この細菌はどれか。1つ選べ。

- a *Actinomyces naeshundii*
- b *Fusobacterium nucleatum*
- c *Prevotella intermedia*
- d *Streptococcus salivarius*

別冊
午後 No. 3 写真

[問題 10] 腸管平滑筋に対するアセチルコリンの用量-反応曲線の図(別冊午後 No. 4)を別に示す。

併用薬①はどれか。1つ選べ。

- a アスピリン
- b ネオスチグミン臭化物
- c アトロピン硫酸塩水和物
- d プロプラノロール塩酸塩

別冊
午後 No. 4 図

[問題 11] 蜂窩織炎で特徴的に浸潤するのはどれか。1つ選べ。

- a 好中球
- b 好酸球
- c リンパ球
- d 肥満細胞

[問題 12] 全身性止血薬はどれか。1つ選べ。

- a アドレナリン
- b トロンビン製剤
- c 酸化セルロース
- d トラネキサム酸

[問題 13] 上皮性腫瘍はどれか。1つ選べ。

- a 乳頭腫
- b 線維腫
- c 脂肪腫
- d ガマ腫

[問題 14] 中枢リンパ組織はどれか。1つ選べ。

- a 骨髄
- b 脾臓
- c 虫垂
- d 扁桃腺

[問題 15] 口腔乾燥に対して有効なのはどれか。1つ選べ。

- a 立効散
- b 黄連湯
- c 五苓散
- d 葛根湯

【問題 16】 う蝕発生に關与する「Keyesの3つの輪」の因子はどれか。2つ選べ。

- a 時間
- b 糖質
- c 細菌
- d 温度

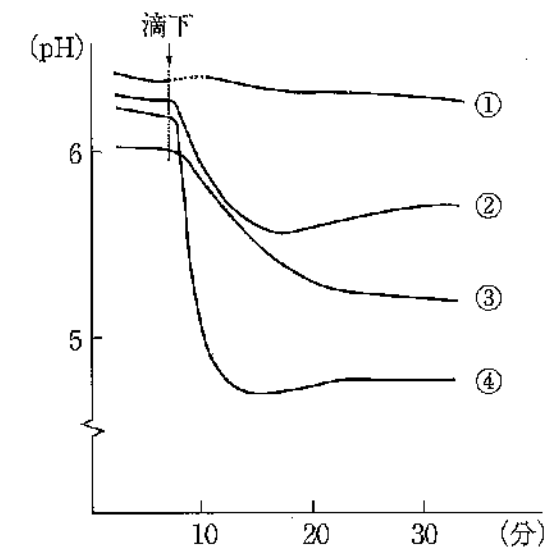
【問題 17】 円を描くように歯ブラシを動かすブラッシング法はどれか。1つ選べ。

- a フォーンズ法
- b ローリング法
- c チャーターズ法
- d スクラッピング法

【問題 18】 フッ化物歯面塗布法に用いるフッ化物はどれか。2つ選べ。

- a 2% NaF
- b 2% MFP
- c 4% APF
- d 4% SnF₂

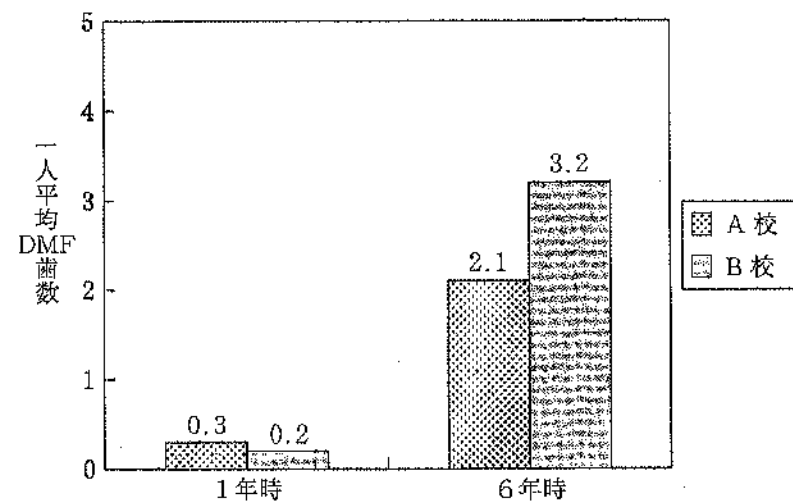
【問題 19】 4種類の糖質(マンノース、ガラクトース、スクロース、ソルビトール)を歯垢に滴下した時のpH推移のグラフを示す。



スクロースはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

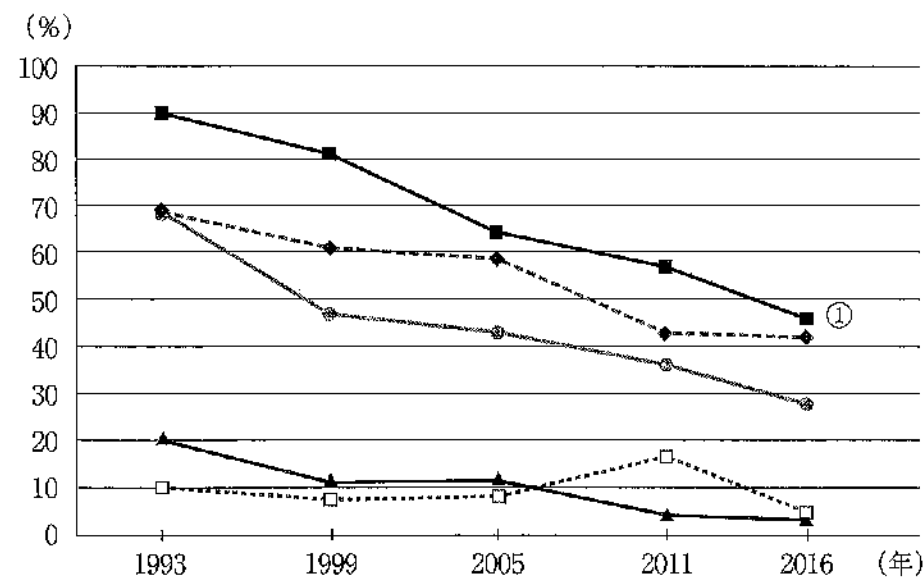
[問題 20] フッ化物洗口法を実施している A 校と実施していない B 校における 1 年時と 6 年時の一人平均 DMF 歯数を図に示す。



フッ化物洗口によるう蝕抑制率はどれか。1 つ選べ。

- a 35%
- b 40%
- c 50%
- d 60%

[問題 21] 歯科疾患実態調査におけるう歯を持つ者の割合の年次推移の図を示す。



① はどれか。1 つ選べ。

- a 3～5 歳
- b 6～8 歳
- c 9～11 歳
- d 12～14 歳

[問題 22] 水系感染症はどれか。2 つ選べ。

- a コレラ
- b B 型肝炎
- c サルモネラ
- d インフルエンザ

[問題 23] 従属人口はどれか。1つ選べ。

- a 年少人口 + 老年人口
- b 年少人口 + 生産年齢人口
- c 生産年齢人口 + 老年人口
- d 年少人口 + 生産年齢人口 + 老年人口

[問題 24] アスベストの長期吸入が原因で発症するのはどれか。1つ選べ。

- a 気胸
- b 中皮腫
- c 肺結核
- d 肺気腫

[問題 25] 小学校のクラス(50名)における「一人当たりのDMF歯の合計」の度数分布表を示す。

DMF歯の合計(本)	0	1	2	3	4	5	6
人数(人)	23	17	5	3	0	1	1

「DMF歯の合計」の基本統計量の関係で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 平均値 > 最頻値 > 中央値
- b 平均値 > 中央値 > 最頻値
- c 中央値 > 平均値 > 最頻値
- d 中央値 > 最頻値 > 平均値

[問題 26] 症例対照研究はどれか。1つ選べ。

- a 患者を対象とした出生年代別の疾病要因の調査
- b 患者と健常者を対象とした疾病要因の後向き調査
- c 治療群と治療なし群とを対象とした治療効果の調査
- d 集団を対象とした疾病要因別の発症率の前向き調査

[問題 27] 労働安全衛生法で歯科医師による健康診断が義務付けられているのはどれか。1つ選べ。

- a 亜鉛を取り扱う業務
- b 硫酸を取り扱う業務
- c アセトンを取り扱う業務
- d アスベストを取り扱う業務

[問題 28] 健康日本21(第二次)におけるNCDはどれか。2つ選べ。

- a COPD
- b 糖尿病
- c C型肝炎
- d AIDS(後天性免疫不全症候群)

[問題 29] 特別管理産業廃棄物はどれか。2つ選べ。

- a 作業用模型
- b 使用済み注射針
- c 血液付着ガーゼ
- d 血液付着ゴム手袋

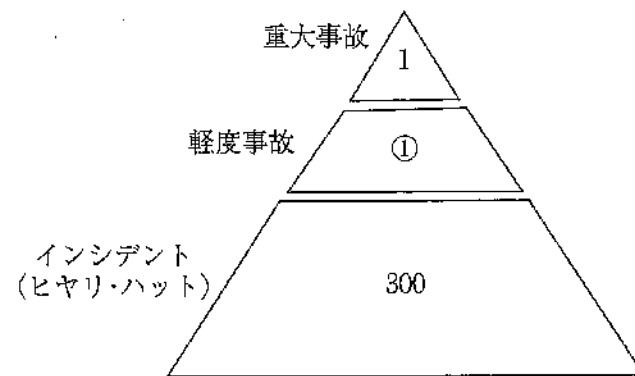
[問題 30] 2019年国民生活基礎調査において、介護が必要となった原因の上位3位を示す。

要介護度	第1位	第2位	第3位
総数	認知症	脳血管疾患(脳卒中)	高齢による衰弱
要支援者	①	高齢による衰弱	骨折・転倒
要介護者	認知症	脳血管疾患(脳卒中)	骨折・転倒

①に該当する原因はどれか。1つ選べ。

- a 認知症
- b 関節疾患
- c 悪性新生物(がん)
- d 脳血管疾患(脳卒中)

[問題 31] ハイน์リッヒの法則の概念を図に示す。



重大事故を1とした比率で①に入るのはどれか。1つ選べ。

- a 10
- b 19
- c 29
- d 30

[問題 32] 令和2年衛生行政報告例(就業医療関係者)の概況における就業者数の比較で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 看護師 > 保健師 > 歯科衛生士 > 歯科技工士
- b 保健師 > 看護師 > 歯科衛生士 > 歯科技工士
- c 看護師 > 歯科衛生士 > 保健師 > 歯科技工士
- d 看護師 > 歯科技工士 > 歯科衛生士 > 保健師

[問題 33] 現病歴で記載するのはどれか。1つ選べ。

- a 主訴についての経過
- b これから受ける治療内容
- c 受診する動機となった症状
- d 出生から来院までの健康状態

[問題 34] 28歳の女性。上顎左側第二小白歯の歯肉腫脹を主訴として来院した。

5年前に治療を受けたが、3か月前から歯肉が腫れてきたという。垂直打診で鈍痛がみられる。慢性化膿性根尖性歯周炎と診断された。瘻孔からガッタパーチャポイントを挿入した口腔内写真(別冊午後No.5A)とエックス線写真(別冊午後No.5B)を別に示す。

撮影の目的はどれか。1つ選べ。

- a 患歯の同定
- b 根尖の位置確認
- c 根尖病巣の有無
- d 歯髄の生死の確認

別冊
午後 No.5 A、B 写真

[問題 35] 嚥下困難の患者に検査を行っている写真(別冊午後 No. 6)を別に示す。

この検査の主な評価項目はどれか。1つ選べ。

- a 咽頭残留
- b 嚥下回数
- c 食塊形成能
- d 喉頭挙上時間

別冊
午後 No. 6 写真

[問題 36] 個人識別における年齢推定に有用な情報はどれか。2つ選べ。

- a 矮小歯
- b 歯の咬耗
- c Angle の分類
- d 歯根象牙質露出

[問題 37] エックス線写真(別冊午後 No. 7 A)とそのトレース図(別冊午後 No. 7 B)を別に示す。

正しい組合せはどれか。1つ選べ。

- a ①——— 頬骨
- b ②——— 鼻腔
- c ③——— 下顎頭
- d ④——— 翼突鉤

別冊
午後 No. 7 A、B 写真

[問題 38] 55歳の女性。下顎右側部の冷水痛を主訴として来院した。自発痛、咬合痛は認められない。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 8 A)とエックス線写真(別冊午後 No. 8 B)を別に示す。

原因菌を特定するための検査はどれか。2つ選べ。

- a 透照診
- b 温度診
- c 擦過診
- d 歯髄電気診

別冊
午後 No. 8 A、B 写真

[問題 39] 喫煙が歯周組織に及ぼす影響はどれか。2つ選べ。

- a 歯肉出血の増加
- b 組織酸素分圧の低下
- c 免疫担当細胞の機能亢進
- d 歯肉へのメラニン色素の沈着

[問題 40] 55歳の女性。上顎右側中切歯の違和感を主訴として来院した。診察の結果、打診痛と補綴装置の動揺が認められ、歯周ポケットは3mm以下であった。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 9 A)とエックス線写真(別冊午後 No. 9 B)を別に示す。

主訴の原因として考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 内部吸収
- b 根管内異物
- c 垂直性歯根破折
- d コロナルリケージ

別冊
午後 No. 9 A、B 写真

[問題 41] 25歳の女性。前歯部の審美不良を主訴として来院した。検査の結果、歯冠補綴治療を行うことになった。歯を削る量は少なくしたいという。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 10)を別に示す。

考えられる処置はどれか。1つ選べ。

- a 陶材焼付冠
- b オールセラミッククラウン
- c ポーセレンラミネートベニア
- d ポーセレンジャケットクラウン

別冊
午後 No. 10 写真

[問題 42] 歯内治療に用いる薬剤と目的の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a EDTA ————— 有機質溶解
- b 過酸化水素水 ————— 根管清掃
- c ホルムクレゾール ————— 根管消毒
- d パラホルムアルデヒド ————— 歯髄鎮静

[問題 43] 45歳の男性。上顎右側臼歯部の不快感を主訴として来院した。3年前からブラッシング時の出血に気付いていたが、放置していたという。歯周ポケットの深さは3~5mmで、動揺度は0度であった。慢性歯周炎と診断し、口腔清掃指導を行った。初診時と現在の口腔内写真(別冊午後 No. 11 A、B)を別に示す。続いて行う処置はどれか。1つ選べ。

- a 咬合調整
- b スケーリング
- c 歯周ポケット搔爬
- d ルートプレーニング

別冊
午後 No. 11 A、B 写真

[問題 44] 45歳の男性。下顎左側第一大臼歯の咬合痛を主訴として来院した。

ラバーダム装着時の口腔内写真(別冊午後 No.12)を別に示す。

この状態で起こり得るのはどれか。2つ選べ。

- a 歯冠破折
- b 薬液の漏出
- c 隣接歯の損傷
- d 施術野の汚染

別冊
午後 No.12 写真

[問題 45] 2種類の上顎全部床義歯の写真(別冊午後 No.13 A、B)を別に示す。

Aの床と比較したBの床の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 床を薄くできる。
- b 熱伝導率が低い。
- c 機械的強度が高い。
- d 人工歯の修理が容易である。

別冊
午後 No.13 A、B 写真

[問題 46] 80歳の女性。咀嚼困難を主訴として来院した。使用中の義歯は12年前に装着したという。診察と検査の結果、上下顎全部床義歯を新製することになった。製作過程の一連の写真(別冊午後 No.14)を別に示す。

製作過程の順番で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a ③ → ④ → ① → ②
- b ③ → ① → ④ → ②
- c ④ → ③ → ① → ②
- d ④ → ① → ② → ③

別冊
午後 No.14 写真

[問題 47] 40歳の男性。左側臼歯部欠損による咀嚼困難を主訴として来院した。

診察の結果、下顎左側第二小臼歯と第二大臼歯を支台歯とする固定性ブリッジを装着することになった。完成したブリッジの作業模型上の写真(別冊午後 No.15 A、B)とブリッジ試適時の口腔内写真(別冊午後 No.15 C)を別に示す。

このポンティックを使用した理由はどれか。1つ選べ。

- a 審美性の良さ
- b 装着感の良さ
- c 清掃のしやすさ
- d 咀嚼のしやすさ

別冊
午後 No.15 A、B、C 写真

【問題 48】 部分床義歯作製時に用いる器具の写真(別冊午後 No.16)を別に示す。

この器具の目的はどれか。2つ選べ。

- a 床用レジンの重合
- b 水平的顎間関係の記録
- c 支台歯の平行性の測定
- d 顎堤のアンダーカットの測定

別冊
午後 No.16 写真

【問題 49】 疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a McCune - Albright 症候群 —— 口腔乾燥症
- b Peutz - Jeghers 症候群 —— 慢性再発性アフタ
- c Pierre Robin 症候群 —— 口唇裂
- d Plummer - Vinson 症候群 —— 嚥下困難

【問題 50】 78歳の女性。口の中の疼痛を主訴として来院した。2か月前から口の中がピリピリするという。1年前から寝たきりで介護施設に入所している。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.17 A)と口腔粘膜からの剝離物の塗抹標本像(別冊午後 No.17 B)を別に示す。

疑われるのはどれか。1つ選べ。

- a 白板症
- b 天疱瘡
- c 扁平苔癬
- d カンジダ症

別冊
午後 No.17 A、B 写真

【問題 51】 30歳の女性。下顎右側大臼歯部の疼痛を主訴として来院した。エックス線写真検査で水平埋伏智歯を認めたため抜去された。抜去直後の操作時の口腔内写真(別冊午後 No.18)を別に示す。

この操作の目的はどれか。2つ選べ。

- a 肉芽組織の搔爬
- b 歯肉粘膜の搔爬
- c 残存歯根膜の搔爬
- d 抜歯窩内異物の確認

別冊
午後 No.18 写真

【問題 52】 矯正装置装着時の口腔内写真(別冊午後 No.19)を別に示す。

治療によって増加するのはどれか。2つ選べ。

- a 歯列弓幅径
- b オーバーバイト
- c オーバージェット
- d アベイラブルアーチレングス

別冊
午後 No.19 写真

【問題 53】 Angle分類で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 上顎第一小臼歯を基準にする。
- b II級は上顎前歯で細分類される。
- c 歯列弓の前後的位置を評価できる。
- d 混合歯列期では第二乳臼歯を基準にする。

[問題 54] 矯正装置の写真(別冊午後 No.20 A)と装着時の模式図(別冊午後 No.20 B)を別に示す。

この装置の使用目的はどれか。1つ選べ。

- a 舌突出癖の防止
- b 上顎の側方拡大
- c 上顎の成長抑制
- d 下顎の成長促進

別冊
午後 No.20 A、B 写真

[問題 55] 鞍状歯列弓の原因はどれか。1つ選べ。

- a 口呼吸
- b 低位舌
- c 大臼歯の頰側転位
- d 大臼歯の近心転位

[問題 56] 5歳の男児。上顎前歯の動揺を主訴として来院した。1時間前にコンクリートの床で歯を強打したという。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.21 A)とエックス線写真(別冊午後 No.21 B)を別に示す。

上顎両側乳中切歯に認められるのはどれか。1つ選べ。

- a 陥入
- b 歯冠破折
- c 歯根破折
- d 舌側転位

別冊
午後 No.21 A、B 写真

[問題 57] 3歳の女児。歯肉の腫れと小水疱を母親が気にして来院した。痛みのために食欲不振だという。口腔内写真(別冊午後 No.22)を別に示す。

原因として考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 麻疹ウイルス
- b ムンプスウイルス
- c 単純ヘルペスウイルス
- d 水痘・带状疱疹ウイルス

別冊
午後 No.22 写真

[問題 58] 高齢者への抗菌薬投与で特に注意するのはどれか。2つ選べ。

- a 肺機能
- b 心機能
- c 肝機能
- d 腎機能

【問題 59】 52歳の男性。起床時に顔面の動きが悪いことを主訴として来院した。初診時、左側前額部のしわ寄せ不能、左眼の閉眼不能、鼻唇溝消失、口角下垂などがみられた。初診時の顔貌所見の図を示す。顔面神経麻痺と診断された。



障害部位の特定に有用な検査はどれか。2つ選べ。

- a 聴覚検査
- b 味覚検査
- c 痛覚検査
- d 顎運動検査

【問題 60】 脳性麻痺患者が定期健診のために家族と来院した。来院時の患者の写真(別冊午後 No.23)を別に示す。

口腔内の診察を行う際に特に注意すべきなのはどれか。2つ選べ。

- a 咬反射
- b 驚愕反射
- c 緊張性迷路反射
- d 非対称性緊張性顎反射

別冊
午後 No.23 写真

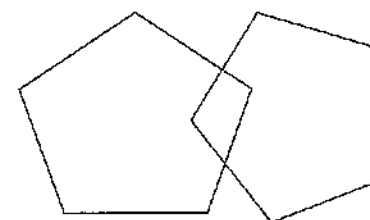
【問題 61】 68歳の女性。上下顎義歯の接触音を主訴として来院した。1年前に気付いたがそのままにしていたという。3年前にうつ病と診断され、現在も抗うつ薬を服用している。他に特記すべき既往歴はない。初診時の口もとで繰り返される一連の動きの写真(別冊午後 No.24)を別に示す。

考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 拘縮
- b ジストニア
- c アロディニア
- d ジスキネジア

別冊
午後 No.24 写真

【問題 62】 認知症を疑う患者にある検査を行った。検査の一項目として、提示した図形を描き写させた。提示した図形を示す。



この検査はどれか。1つ選べ。

- a CDR
- b FAST
- c HDS-R
- d MMSE

[問題 63] 22歳の女性。ブラッシング時に出血と痛みがあり、歯肉に違和感があるとのことで来院した。口腔内写真(別冊午後 No.25)を別に示す。PCRは75%、BOP率は25%であった。

客観的情報はどれか。2つ選べ。

- a 歯肉の発赤
- b 歯肉の違和感
- c 上下顎前歯部の叢生
- d ブラッシング時の痛み

別冊
午後 No.25 写真

[問題 64] 根分岐部病変を進行させる形態異常はどれか。2つ選べ。

- a 中心結節
- b 根面の陥凹
- c エナメル突起
- d カラベリー結節

[問題 65] レジン系小窩裂溝充填で行うのはどれか。2つ選べ。

- a ラバーダム防湿
- b エッチング処理
- c ボンディング処理
- d 充填前のフッ化物塗布

[問題 66] RDテスト®で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 唾液を試料に用いる。
- b 5分間で判定が可能である。
- c 37℃の恒温槽が必要である。
- d ピンク色はハイリスクである。

[問題 67] ブラッシングで除去できるのはどれか。1つ選べ。

- a 歯石
- b ペリクル
- c マテリアアルバ
- d 内因性色素沈着

[問題 68] 写真(別冊午後 No.26)を別に示す。

スケーラーの刃部と歯面との関係で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

別冊
午後 No.26 写真

[問題 69] 10歳の女兒。定期健診のため来院した。診査の結果、う蝕は認められなかった。歯垢染色後の口腔内写真(別冊午後 No.27)を別に示す。

口腔衛生指導を行うにあたり、適切なブラッシング法はどれか。1つ選べ。

- a バス法
- b フォーンズ法
- c ローリング法
- d スクラッピング法

別冊
午後 No.27 写真

[問題 70] エックス線写真(別冊午後 No.28)を別に示す。
上顎右側第一小白歯に観察できるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯石
- b う蝕
- c 根尖病巣
- d 水平的骨吸収

別冊
午後 No.28 写真

[問題 71] 21歳の男性。上顎中切歯部の歯肉の違和感を主訴として来院した。
歯周組織検査後、ブラッシング指導に続いてスケーリング・ルートプレーニングを行った。初診時と再評価時の歯周組織検査結果の一部を表に示す。

初診時

唇側*	4	3	5	4	3	5
歯種	1			1		
口蓋側*	4	2	5	5	4	4
動揺度	1			0		

*: プロービングデプス (mm)

再評価時

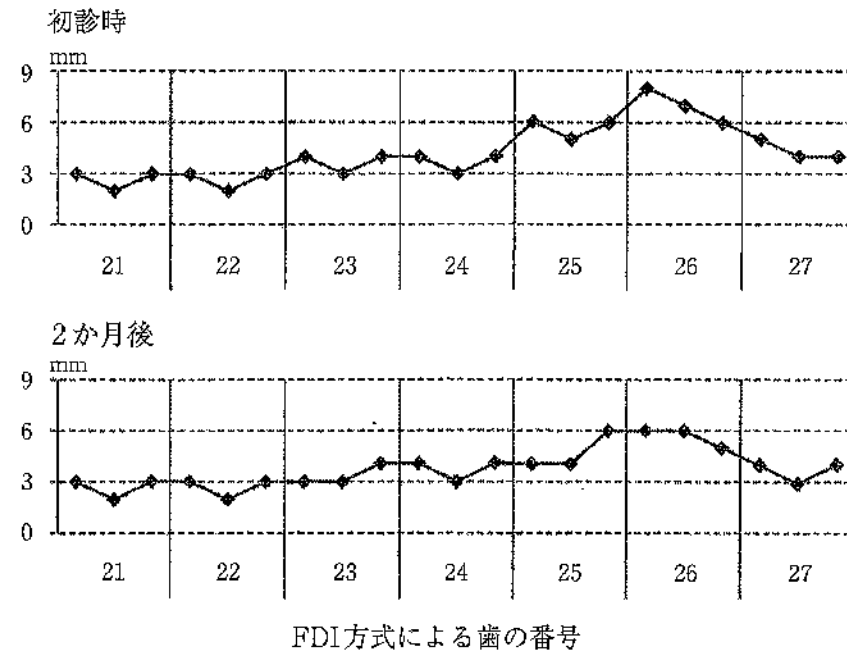
唇側*	3	2	2	3	3	2
歯種	1			1		
口蓋側*	3	2	3	2	1	2
動揺度	1			0		

*: プロービングデプス (mm)

治療後の変化の理由として考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 歯肉の退縮
- b 歯根膜の再生
- c 角化歯肉幅の増大
- d 結合組織性付着の減少

[問題 72] 57歳の男性。初診時と治療開始2か月後のプローピング値(頬側3点)を図に示す。



改善がみられたのはどれか。2つ選べ。

- a 側切歯の遠心
- b 第一小白歯の近心
- c 第二小白歯の近心
- d 第一大臼歯の近心

[問題 73] フッ化物洗口法の回数とフッ素イオン濃度との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 毎日法 ——— 45 ppm
- b 毎日法 ——— 450 ppm
- c 週一回法 ——— 900 ppm
- d 週一回法 ——— 9000 ppm

[問題 74] PMTCで使用する器材の写真(別冊午後 No.29)を別に示す。

使用順序で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a ④ → ① → ③ → ②
- b ④ → ③ → ② → ①
- c ② → ① → ③ → ④
- d ② → ③ → ① → ④

別冊
午後 No.29 写真

[問題 75] 32歳の女性。全顎にわたる歯肉の腫脹を主訴として来院した。7歳時に、てんかんを発症し通院服薬中であるという。歯周ポケットの深さは平均3.5mmで、エックス線検査で骨吸収は認められない。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.30)を別に示す。

疑われるのはどれか。1つ選べ。

- a 歯肉増殖症
- b 咬合性外傷
- c 慢性歯周炎
- d 急性壊死性潰瘍性歯周炎

別冊
午後 No.30 写真

[問題 76] 5歳の男児。ブラッシング指導を希望して保護者と来院した。初診時の歯垢染色後の口腔内写真(別冊午後 No.31 A)とその結果のチャート(別冊午後 No.31 B)を別に示す。

O'LearyのPCR値はどれか。1つ選べ。

- a 30%
- b 40%
- c 50%
- d 60%

別冊
午後 No.31 A、B 写真

[問題 77] 保健活動のポピュレーションアプローチはどれか。2つ選べ。

- a 社員食堂への栄養成分表示
- b 健康診査後の動機付け支援
- c ウォーキングイベントの実施
- d 糖尿病予備軍に対する食生活指導

[問題 78] 行動変容を考える者が行動変容ステージモデルの準備期に入ったと考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 1か月間塩分制限を続けている。
- b 1年間ウォーキングを毎日続けている。
- c 明日からジョギングを始めるつもりでいる。
- d 2か月後から間食をやめようと思っている。

[問題 79] 歯石の沈着予防効果があるのはどれか。2つ選べ。

- a ゼオライト
- b トラネキサム酸
- c 乳酸アルミニウム
- d ポリリン酸ナトリウム

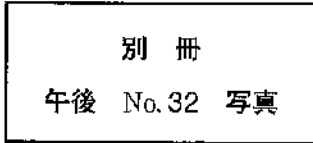
[問題 80] 成人に対するフッ化物配合歯磨剤の使用に関する指導内容で適切なものはどれか。2つ選べ。

- a フッ化物濃度が高いものを選ぶ。
- b ブラッシング直後は飲食しない。
- c ブラッシング途中で複数回吐出する。
- d ブラッシング終了時に多めに洗口する。

[問題 81] 要介護高齢者の口腔清掃に用いる器具の写真(別冊午後 No.32)を別に示す。

用いる部位はどれか。2つ選べ。

- a 舌背
- b 歯間部
- c 頬粘膜
- d 智歯遠心面



[問題 82] 軽度の嚥下障害がある患者に対する誤嚥性肺炎の予防法はどれか。1つ選べ。

- a 流動食にする。
- b 食後は10分程度の座位を保持する。
- c 軽く下顎を挙上して飲み込んでもらう。
- d 口腔内を吸引しながらブラッシングする。

[問題 83] ある市が行った歯周疾患検診の検査結果の一部を表に示す。

受診者	未処置歯	歯肉出血 スコア*	歯周ポケット スコア*	要補綴歯	その他の 所見
①	無	1	0	無	無
②	無	0	1	無	無
③	無	1	0	無	無
④	無	1	1	有	無

* CPI (WHO, 2013)

「要精密検査」に該当する受診者はどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

[問題 84] 幼稚園で4歳児20名の集団に対して歯科保健指導を実施することになった。

実施計画の項目と内容との組合せで適切なものはどれか。2つ選べ。

- a 現状把握 —— 歯科健康診断結果
- b 指導方法 —— 60分の講話
- c 使用媒体 —— ペープサート
- d 指導内容 —— デンタルフロスの使用方法

[問題 85] 在宅療養中の多剤併用(ポリファーマシー)患者に対する適切な対応はどれか。1つ選べ。

- a 錠剤の粉砕を指導する。
- b 主治医受診まで休薬を指示する。
- c 服薬のアドヒアランスを確認する。
- d 日々の体調で調節するよう指導する。

[問題 86] 母乳栄養で欠乏のリスクがあるのはどれか。1つ選べ。

- a ビタミンA
- b ビタミンC
- c ビタミンE
- d ビタミンK

[問題 87] 22歳の男性。歯肉からの出血を主訴として来院した。歯磨きは1日に2回朝晩横磨きで行っている。歯垢染色後の口腔内写真(別冊午後 No. 33 A)と口腔清掃用具(別冊午後 No. 33 B)を別に示す。

ブラッシング指導に加えて、使用を勧める口腔清掃用具はどれか。2つ選べ。

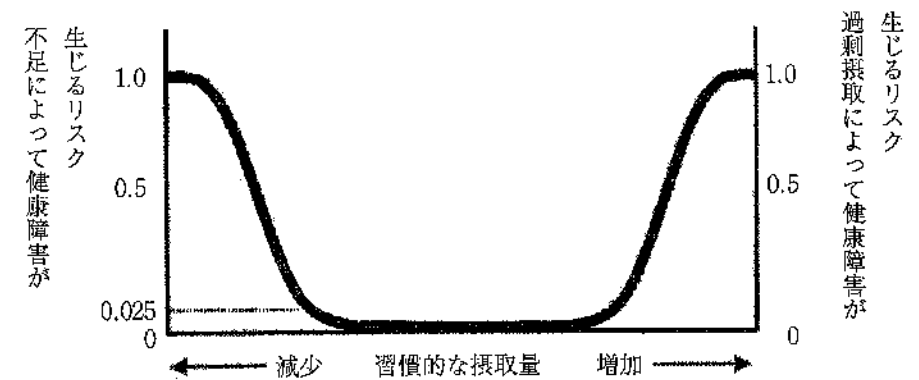
- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

別冊
午後 No. 33 A、B 写真

[問題 88] 食事バランスガイドのイラストで、上から順の並びで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 主食 → 主菜 → 副菜
- b 主食 → 副菜 → 主菜
- c 主菜 → 副菜 → 主食
- d 主菜 → 主食 → 副菜

[問題 89] 日本人の食事摂取基準の概念を図に示す。



概念図で表示されないのはどれか。1つ選べ。

- a 推奨量
- b 目標量
- c 目安量
- d 耐容上限量

[問題 90] 食品に表示されているマーク(別冊午後 No. 34)を別に示す。

えん下困難者用食品に表示されているのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

別冊
午後 No. 34 図

[問題 91] 76歳の女性。3年前に脳梗塞を発症したという。現在、右半分に麻痺があり、障害高齢者の日常生活自立度はランクBである。

この患者の口腔衛生管理で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 頸部前屈位で行う。
- b 含糖食品の摂取を制限する。
- c 吸引付き歯ブラシを使用する。
- d 右側を下にした側臥位で行う。

[問題 92] アルコール性肝障害で高値を示すのはどれか。2つ選べ。

- a Alb
- b AST
- c γ -GTP
- d TP

[問題 93] 自力での摂取が困難な臥床患者の食事介助で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 水分摂取の介助を控える。
- b 仰臥位の姿勢を保持するよう介助する。
- c 食事内容が見える位置に食器を配置する。
- d 患者の下顎が上がるよう上方からスプーンで介助する。

[問題 94] 9歳の女兒。嚥下時の鼻腔への逆流があることを主訴として来院した。軟口蓋の運動障害を認めたため装置を使用することになった。装着時の口腔内写真(別冊午後No.35)を別に示す。

装置の効果を確認するための検査として適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 超音波検査
- b 改訂水飲みテスト
- c 鼻咽腔内視鏡検査
- d 反復唾液嚥下テスト

別 冊
午後 No.35 写真

[問題 95] 無汗型外胚葉異形成症の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 女性に多い。
- b 知的障害を認める。
- c 体温調節が困難である。
- d 歯の形態異常がみられる。

[問題 96] 32歳の男性。上顎第一大臼歯の咬合面にくぼみがあることを主訴として来院した。数年前に同部位に修復処置を受けたという。冷水痛や自発痛はない。補修修復を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午後No.36A)と修復後の写真(別冊午後No.36B)を別に示す。

修復処置に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a う蝕検知液
- b リング状リテーナー
- c シランカップリング剤
- d ポリエステルマトリックス

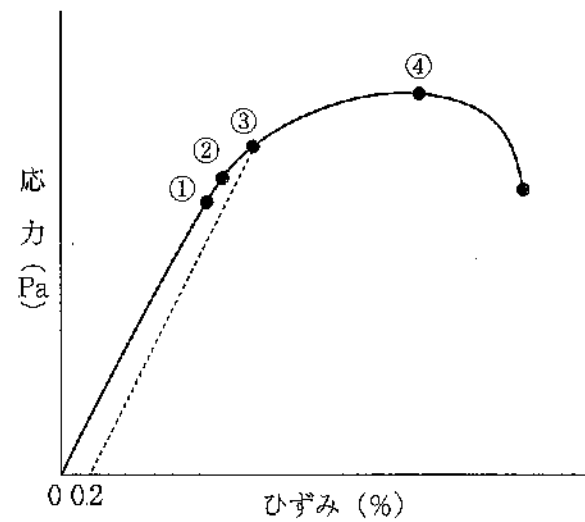
別 冊
午後 No.36 A、B 写真

[問題 97] エックス線撮影による被曝で線量限度が定められているのはどれか。

1つ選べ。

- a 治療中の患者
- b 研究のための被験者
- c 患児を固定する母親
- d 診療補助時の歯科衛生士

[問題 98] 応力-ひずみ曲線の図を示す。



弾性限はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

[問題 99] 31歳の男性。上顎左側第二小臼歯の歯質の破損を主訴として来院した。食事時に疼痛があるという。感染象牙質を一部除去すると露髄したため抜髄を行うことになった。口腔内写真(別冊午後 No.37 A)とエックス線写真(別冊午後 No.37 B)を別に示す。

隔壁形成後に行う処置はどれか。1つ選べ。

- a 髓室開拮
- b う窩の開拮
- c 感染象牙質除去
- d ラバーダム防湿

別冊
午後 No.37 A、B 写真

[問題 100] ある機器の写真(別冊午後 No.38 A)とその機器を使用している写真(別冊午後 No.38 B)を別に示す。

院内感染予防対策でこの機器を併用するのはどれか。2つ選べ。

- a 光照射器
- b 超音波スケーラー
- c マイクロスコープ
- d スリーウェイシリンジ

別冊
午後 No.38 A、B 写真

[問題 101] 無歯顎者の無圧概形印象に用いられる印象材はどれか。1つ選べ。

- a アルジネート
- b 酸化亜鉛ユージオール
- c 付加型シリコーンラバー
- d モデリングコンパウンド

[問題 102] デンタルチェア上で患者の意識が消失した。

胸骨圧迫で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 除細動時にも行う。
- b 剣状突起を圧迫する。
- c 毎秒3回のペースで行う。
- d バックレストの下に椅子を置く。

[問題 103] 55歳の女性。上顎左側第二小白歯の違和感を主訴として来院した。

以前より時々歯肉より排膿することがあったという。エックス線撮影に加え歯科用コーンビームCT撮影を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.39 A)とエックス線写真(別冊午後 No.39 B)を別に示す。

歯科用コーンビームCT撮影の目的はどれか。1つ選べ。

- a 根尖病変の広がり
- b 膿瘍内容液の種類
- c 補綴修復物の適合度
- d 歯周ポケットの深さ

別 冊
午後 No.39 A、B 写真

[問題 104] 55歳の女性。白歯の欠損による咀嚼困難を主訴として来院した。1年前に下顎右側第一大臼歯を抜歯したという。診察の結果、⑦65④のブリッジを新製することになった。支台歯形成後の口腔内写真(別冊午後 No.40 A)、使用する器材の写真(別冊午後 No.40 B)、支台歯形成後に行ったある操作の口腔内写真(別冊午後 No.40 C)及び操作後に口腔外に取り出したものの写真(別冊午後 No.40 D)を別に示す。

この操作の目的はどれか。1つ選べ。

- a 顎間関係の記録
- b 咬合高径の設定
- c 支台歯の印象採得
- d 咬合面クリアランスの確認

別 冊
午後 No.40 A、B、C、D 写真

[問題 105] 準備期に障害がある摂食嚥下障害の患者に行うのはどれか。2つ選べ。

- a 舌訓練
- b 口唇訓練
- c ブローイング訓練
- d プッシング・プリンク訓練

[問題 106] 高齢患者が歯科治療中に突然呂律が回らなくなった。患者を立位にし、歯科医師が両手をとって前方、水平にあげ、目を閉じさせた。その後、歯科医師が手を放しても姿勢を維持するよう指示した。手を放した後の写真(別冊午後 No.41)を別に示す。

適切な対応はどれか。1つ選べ。

- a 酸素投与
- b 救急車の要請
- c 血糖値の測定
- d 静脈路の確保

別冊
午後 No.41 写真

[問題 107] 歯周外科治療に用いる器具の写真(別冊午後 No.42)を別に示す。

この器具を用いるのはどれか。2つ選べ。

- a 新付着術
- b 小帯切除術
- c フラップ手術
- d 歯周ポケット搔爬術

別冊
午後 No.42 写真

[問題 108] 矯正装置を装着した口腔内写真(別冊午後 No.43 A)と器具の写真(別冊午後 No.43 B)を別に示す。

装置の製作と装着に必要なのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

別冊
午後 No.43 A、B 写真

[問題 109] 既製乳歯冠作製中の写真(別冊午後 No.44)を別に示す。

用いているプライヤーはどれか。1つ選べ。

- a Peeso
- b Young
- c Gordon
- d Muschan

別冊
午後 No.44 写真

[問題 110] 歯科用装置の写真(別冊午後 No.45)を別に示す。

この装置を装着する患者への説明で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 水中に保管する。
- b 定期的に診察を受ける。
- c 硬めの歯ブラシで清掃する。
- d 試合のみならず練習中も使用する。

別冊
午後 No.45 写真

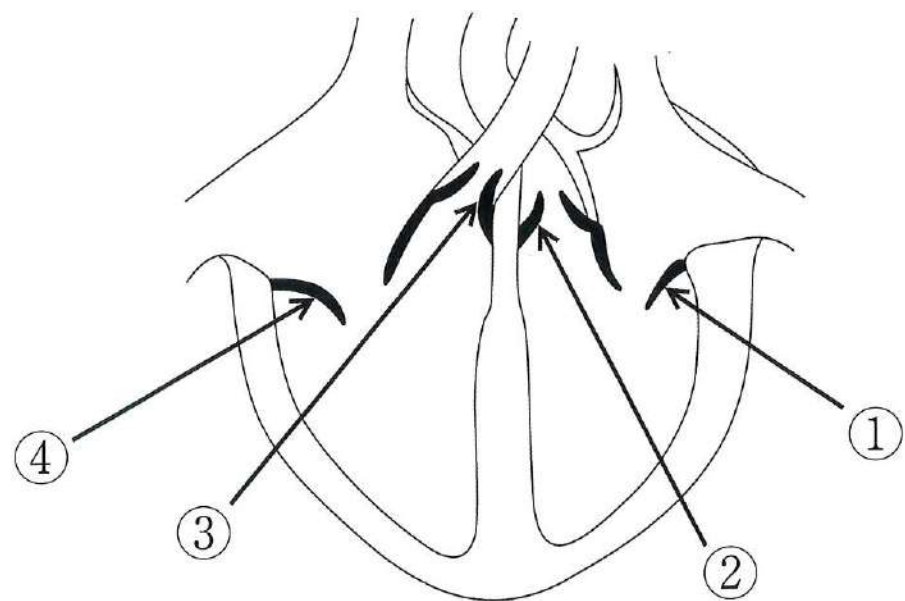
321

午 後

別 冊

日本医歯薬研修協会

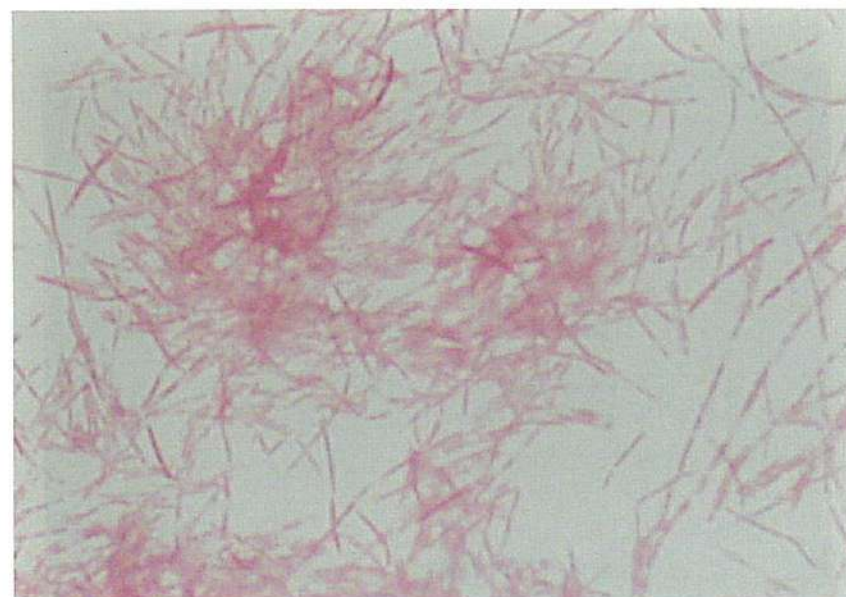
No. 1 図 (問題3)



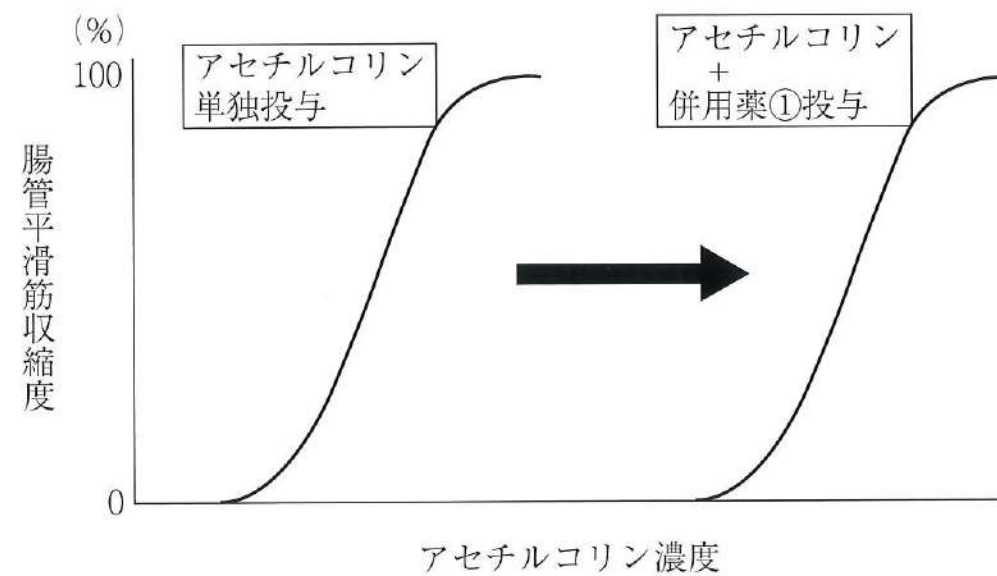
No. 2 写真 (問題4)



No. 3 写真 (問題9)



No. 4 図 (問題10)



No. 5 写真 (問題 34)

A



B



No. 6 写真 (問題 35)

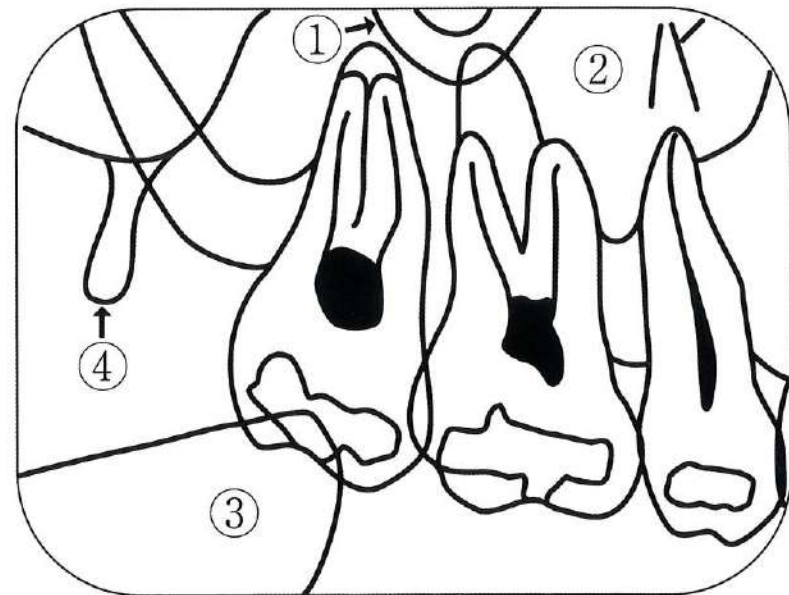


No. 7 写真 (問題 37)

A



B



No. 8 写真 (問題 38)

A



B



No. 9 写真 (問題40)

A



B

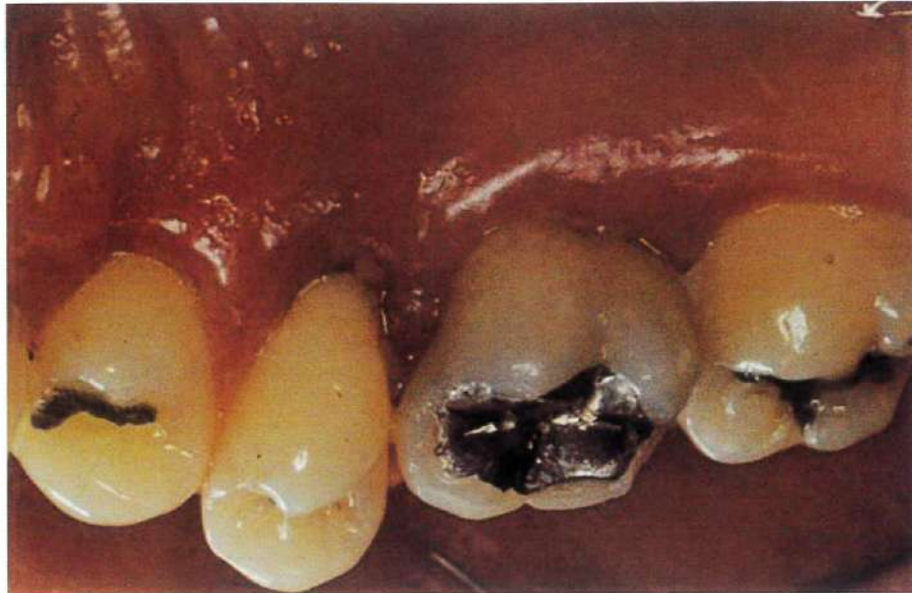


No. 10 写真 (問題41)



No. 11 写真 (問題 43)

A



初診時

B



現在

No. 12 写真 (問題 44)



No. 13 写真 (問題 45)

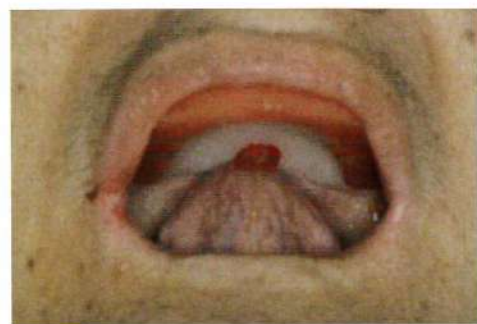
A



B



No. 14 写真 (問題 46)



①



②



③



④

No. 15 写真 (問題 47)

A



B



C



No. 16 写真

(問題 48)



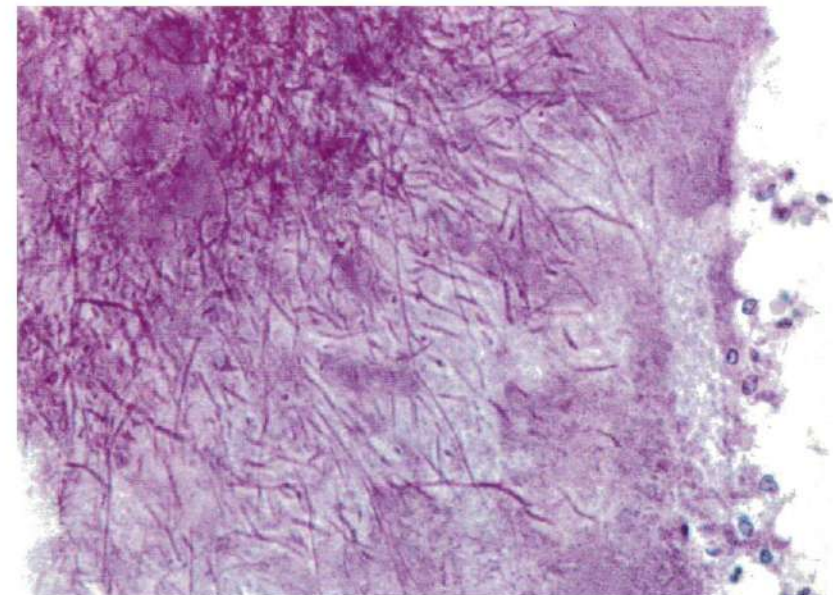
No. 17 写真

(問題 50)

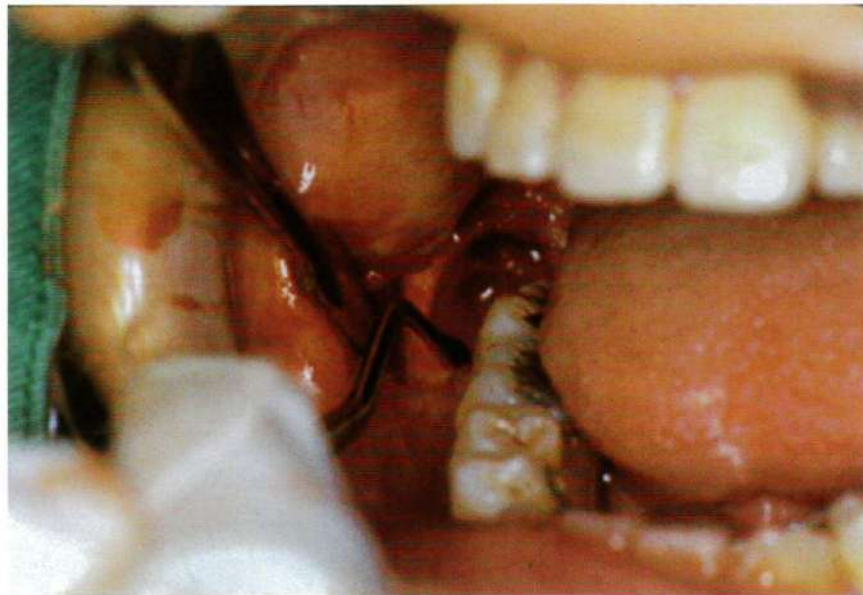
A



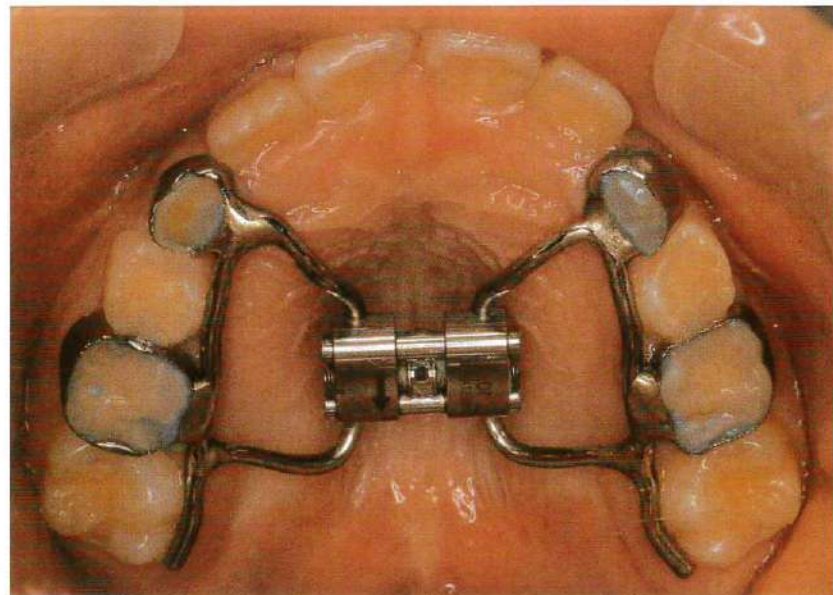
B



No. 18 写真 (問題 51)

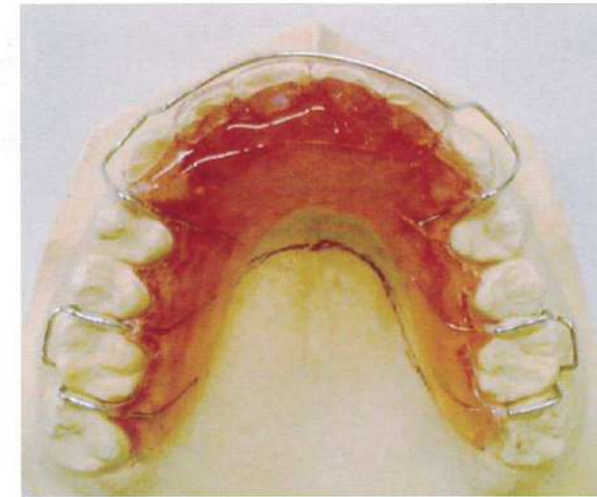


No. 19 写真 (問題 52)

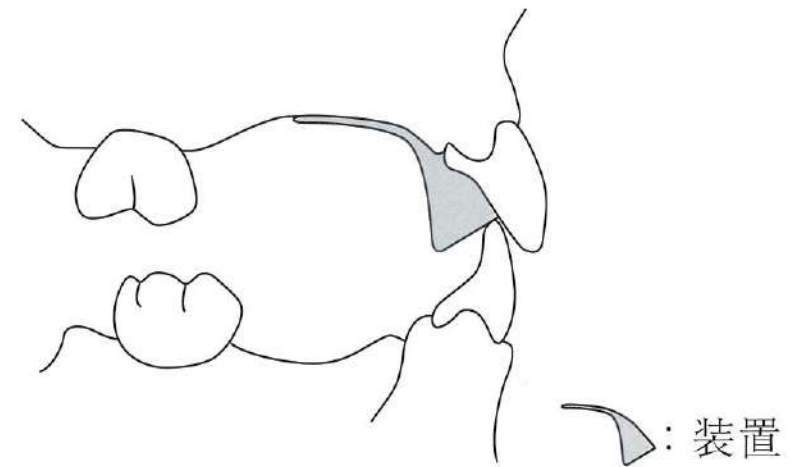


No. 20 写真 (問題 54)

A

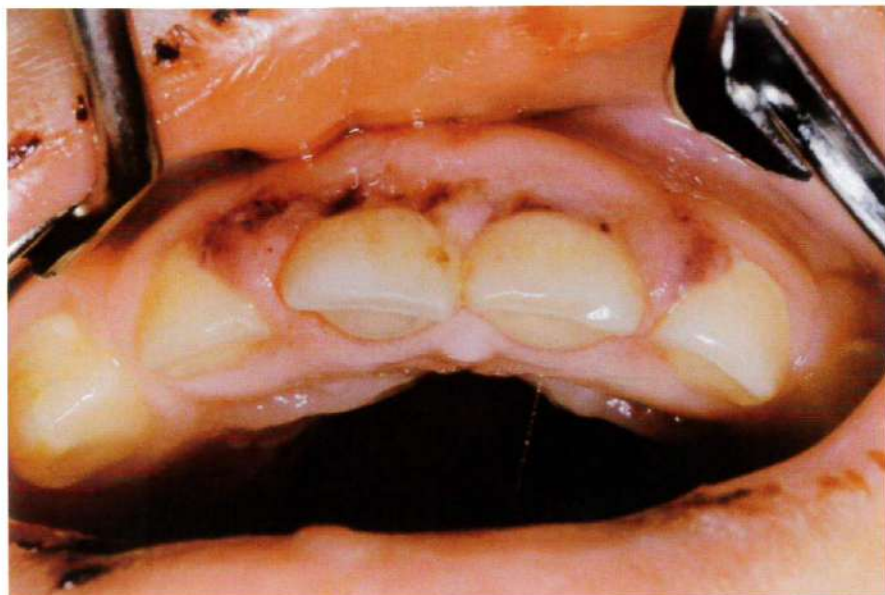


B



No. 21 写真 (問題 56)

A



B



No. 22 写真 (問題 57)

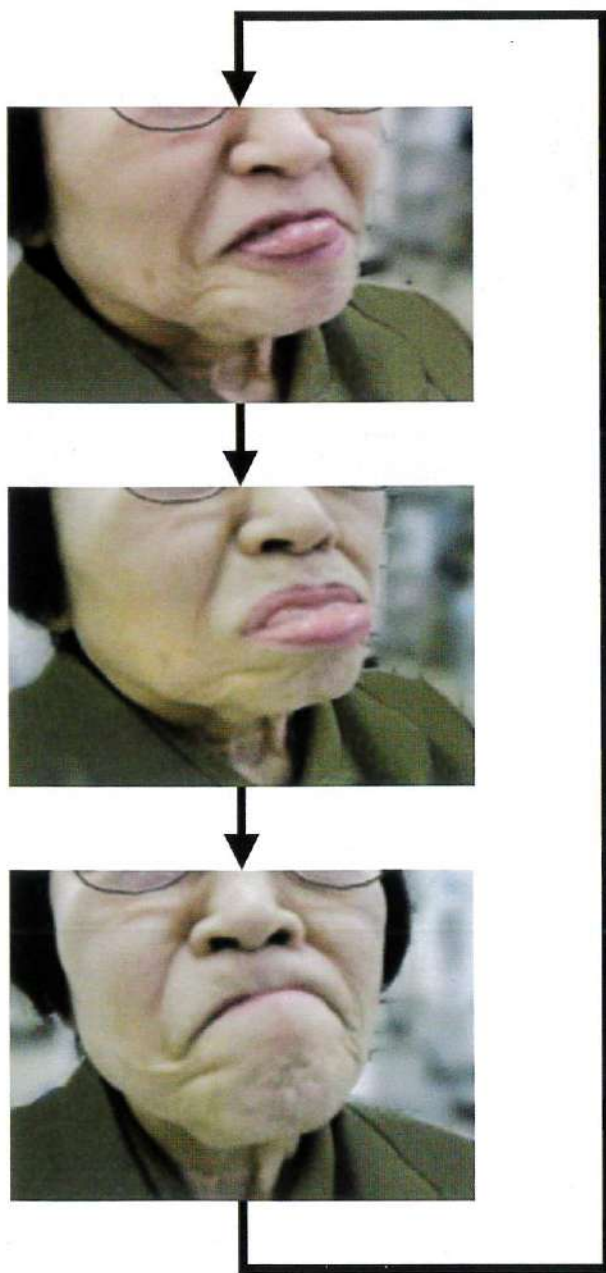


No. 23 写真 (問題 60)



No. 24 写真

(問題 61)

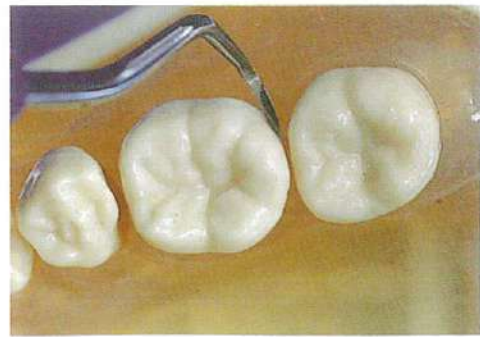


No. 25 写真

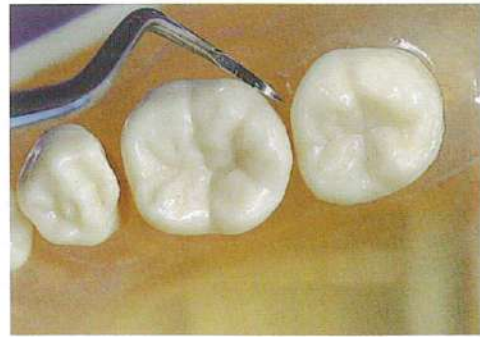
(問題 63)



No. 26 写真 (問題 68)



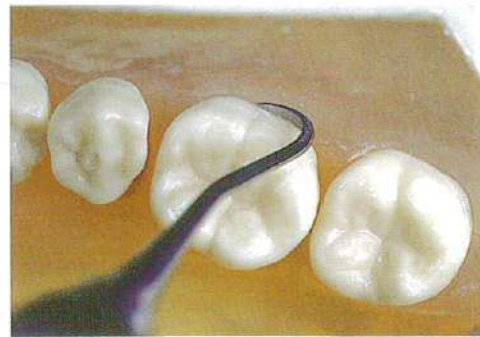
①



②



③



④

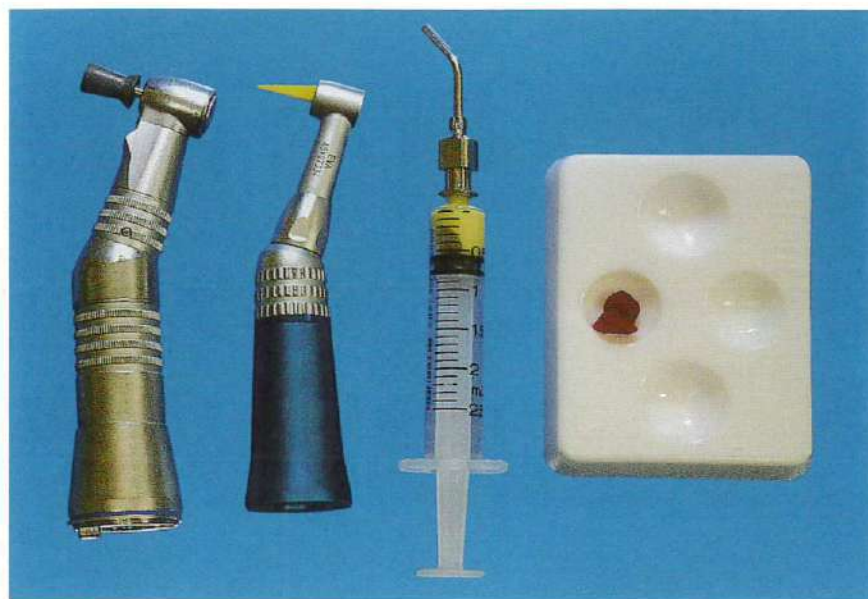
No. 27 写真 (問題 69)



No. 28 写真 (問題 70)



No. 29 写真 (問題 74)



①

②

③

④

No. 30 写真 (問題 75)

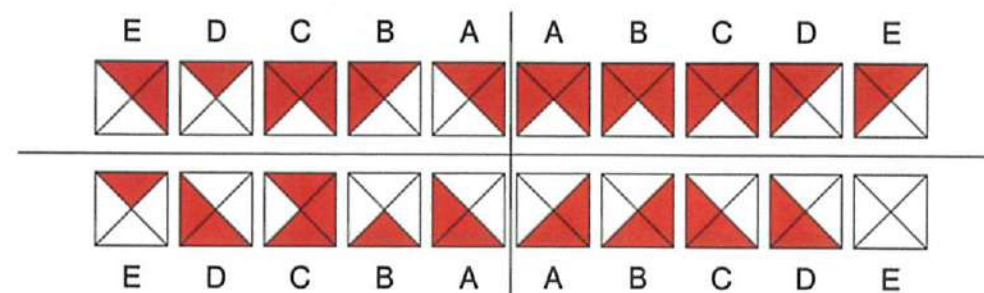


No. 31 写真 (問題 76)

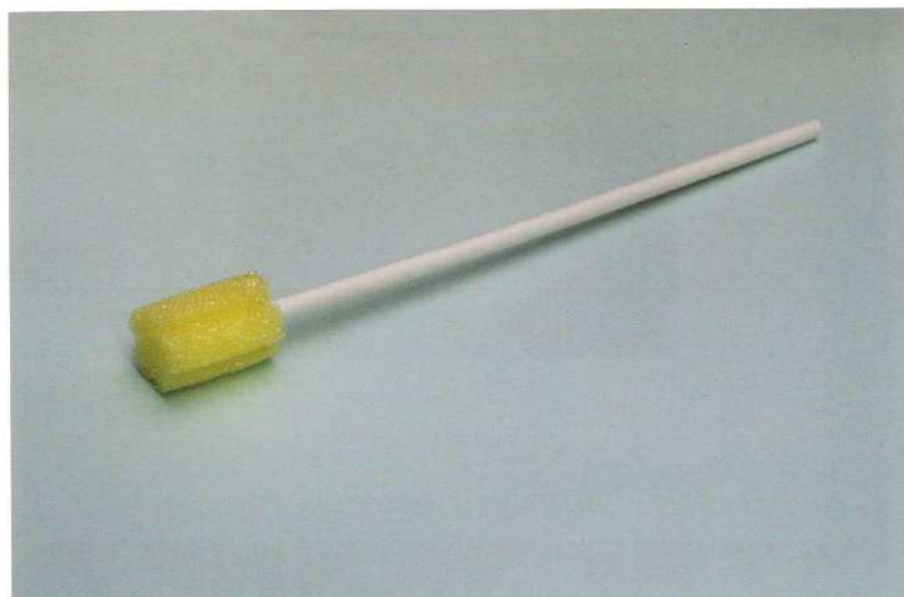
A



B



No. 32 写真 (問題 81)



No. 33 写真 (問題 87)

A

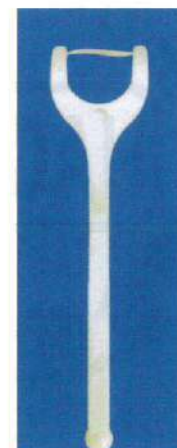


(ミラー像)

B



①



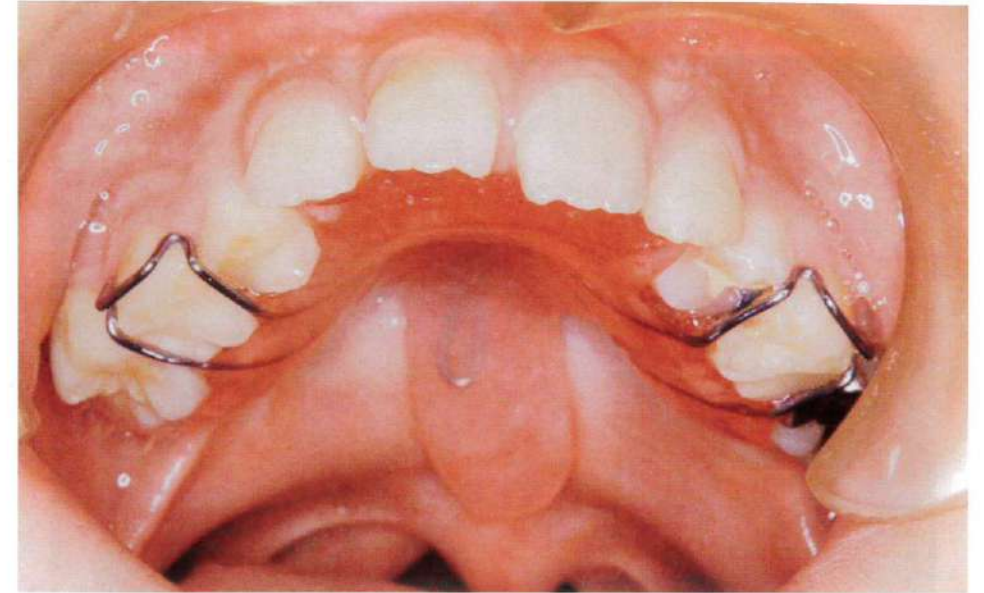
②



③



④



A



B



A



(ミラー像)

B



No. 38 写真 (問題 100)

A



B

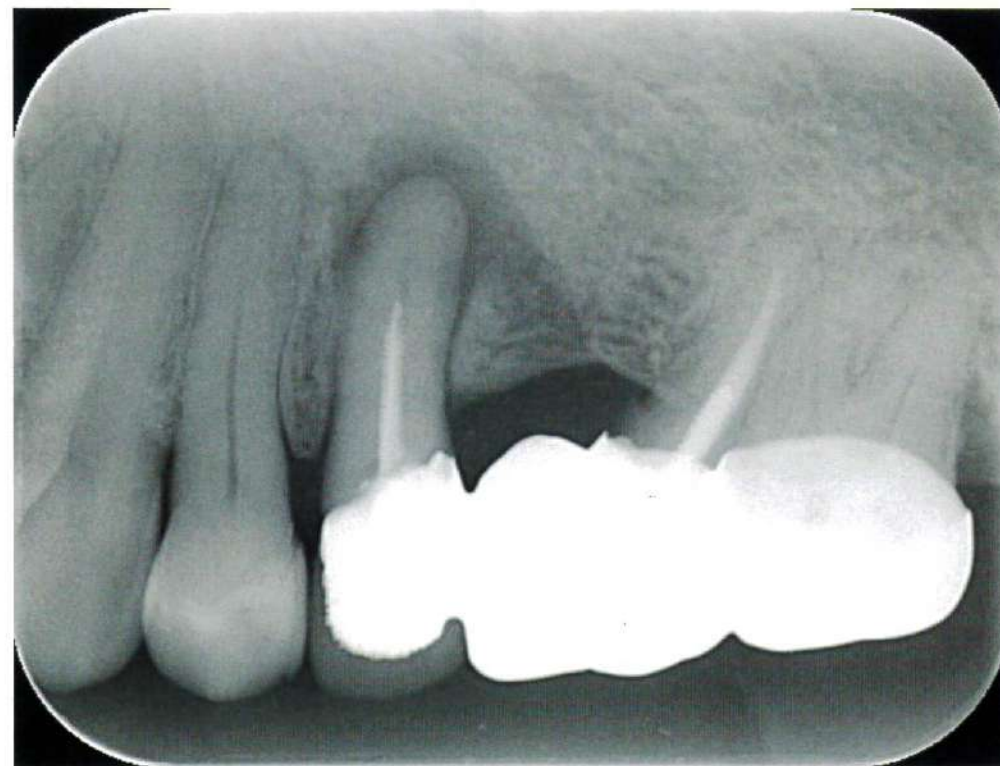


No. 39 写真 (問題 103)

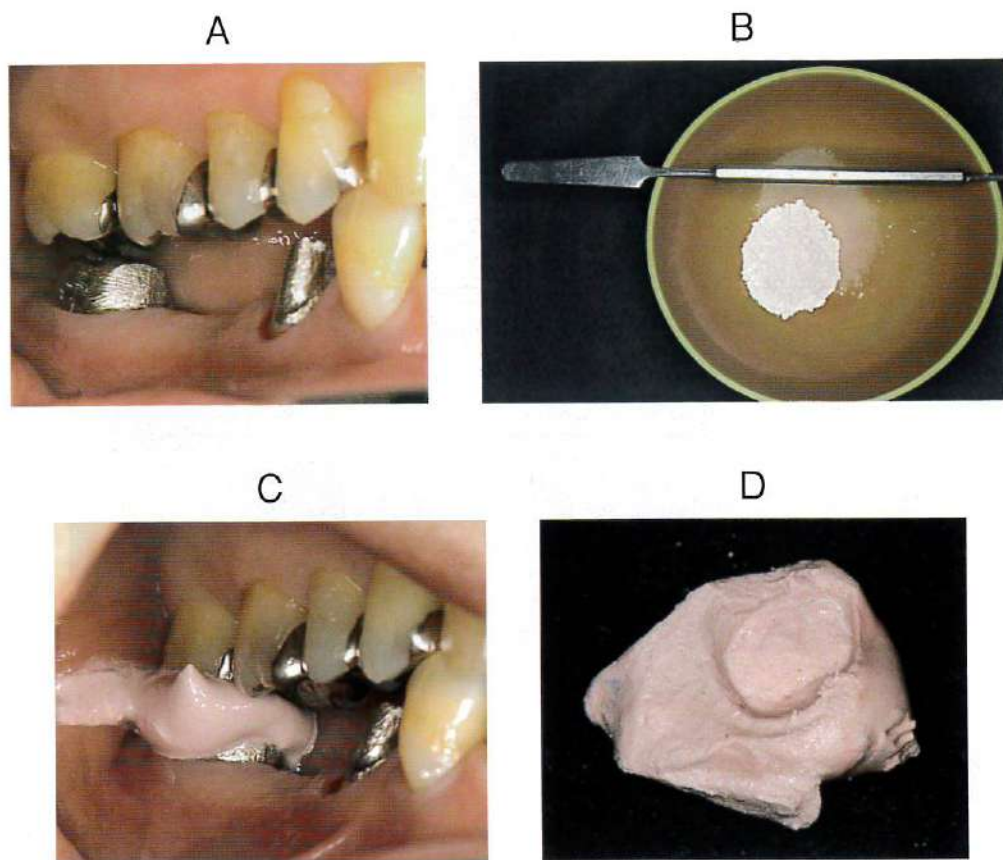
A



B



No. 40 写真 (問題 104)



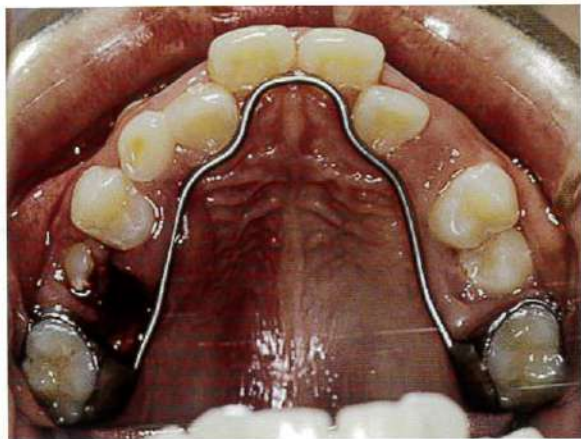
No. 41 写真 (問題 106)



No. 42 写真 (問題 107)



A



B



①



②



③



④

No. 44 写真 (問題 109)



No. 45 写真 (問題 110)

